

(宮崎県商工会議所連合会共同事業)

宮崎県内企業景況調査報告書

(2007年4～6月期)

第45回

宮崎県商工会議所連合会

(幹事：宮崎商工会議所)

目 次

1. 実施概要
2. 調査結果（D I の推移）
3. 概況
4. 県内の景気動向
 - （1）前期比（平成19年1～3月との比較）
 - （2）前年同期比（平成18年4～6月との比較）
 - （3）来期見通し（平成19年7～9月の見通し）
5. 業種別の景気動向
 - （1）製造業
 - （2）建設業
 - （3）卸売業
 - （4）小売業
 - （5）サービス業（飲食関連・観光関連を含む）
6. 経営上の問題点
7. 今後の対応策
8. 国・県等への要望

1. 実施概要

(1) 回答率

調査対象企業数	500社
回答企業数	177社
回答率	35.4%
(業種別)	
製造業	66社
建設業	38社
卸売業	12社
小売業	30社
サービス業	31社
合計	177社

(2) 実施時期

平成19年1～4月期

(3) 調査内容

調査対象1四半期について前期比、前年同期比及び来期見通しについて、売上高（出荷額・受注額）、採算（経常利益ベース）、資金繰りの状況、仕入れ単価（資材、原材料、商品）、雇用（労働力）状況（含むパート）、設備投資計画、業況の各項目ごとに景況感を調査した。

(4) 調査対象

県内9つの商工会議所（宮崎・都城・延岡・日向・高鍋・日南・小林・串間・西都）の地域の実情を考慮して、製造業、建設業、卸売業、小売業、サービス業の5業種で合計500社を調査対象とした。

(5) 調査方法

県内9商工会議所において、それぞれの地域の調査対象企業へ調査票を送付し、回答を返信用封筒及びファクシミリで返信していただき、それぞれの商工会議所で行った調査結果を宮崎商工会議所専門経営指導センターにインターネットを活用して返信し、集計分析を行った。

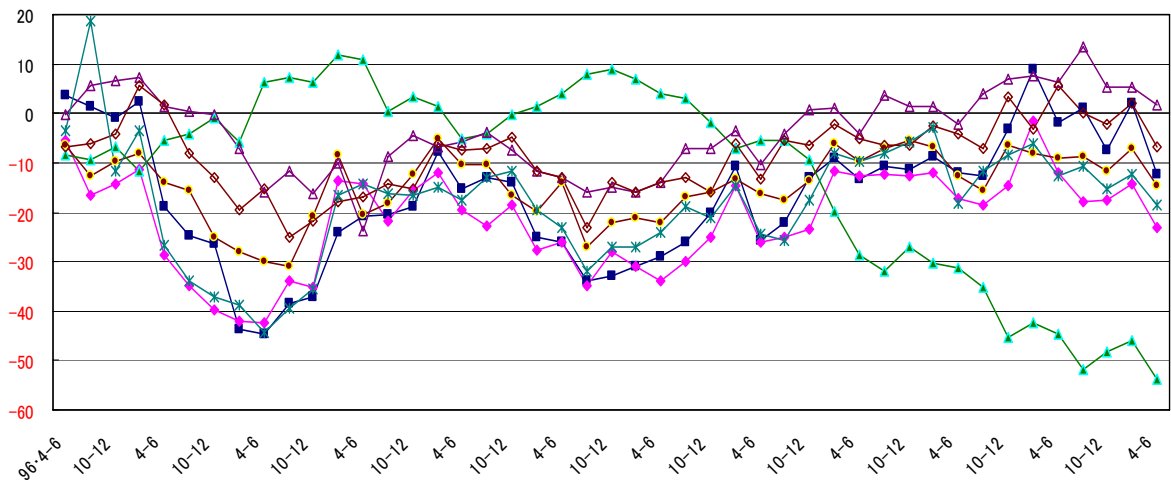
2. 調査結果 (D I)

D Iとは (景況判断指数) とは

D Iは、売上・採算・資金繰り・仕入価格・雇用状況・設備投資・業況などの各項目についての、判断状況を表します。

ゼロを基準として、プラス値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示します。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりを意味します。

- 売上D I = (増加回答の割合) - (減少回答の割合)
 採算D I = (好転 ") - (悪化 ")
 資金繰りD I = (好転 ") - (悪化 ")
 仕入価格D I = (下落 ") - (上昇 ")
 雇用状況D I = (不足 ") - (過剰 ")
 設備投資D I = (拡大 ") - (減少 ")
 業況D I = (好転 ") - (悪化 ")



前年同期比 (全企業D Iの推移)

	10-12	05/1-3	4-6	7-9	10-12	06/1-3	4-6	7-9	10-12	07/1-3	4-6
■売上	-11.3	-8.7	-12.1	-12.6	-3.3	8.8	-1.9	1.0	-7.4	2.1	-12.4
◆採算	-12.7	-12.0	-17.2	-18.6	-14.6	-1.5	-12.1	-17.8	-17.5	-14.4	-23.0
●資金繰り	-5.4	-6.7	-12.6	-15.6	-6.6	-8.2	-8.9	-8.7	-11.6	-7.2	-14.6
▲仕入価格	-27.0	-30.3	-31.2	-35.2	-45.3	-42.3	-44.6	-51.9	-48.1	-45.9	-53.9
△雇用状況	1.5	1.4	-2.3	4.0	7.1	7.7	6.4	13.5	5.3	5.2	1.7
◇設備投資	-6.4	-2.4	-4.2	-7.0	3.3	-3.1	5.7	0.0	-2.1	2.1	-6.7
*業況	-5.9	-2.9	-18.1	-11.6	-8.5	-6.2	-12.7	-10.6	-15.3	-12.4	-18.5

3. 概況

「建設・小売が足を引っ張り、再び悪化」

(1) 今期の特徴

前期比のD I 値は、唯一、卸売業がプラス値を示したものの、他は全てマイナスとなってしまった。特に、年度末需要の反動の建設業・小売業の値の悪化が大きかった。

前年同月比のD I 値は、前回調査で売上D I がプラスに転じたものの、再びマイナスへ。製造業・サービス業が比較的良好で、マイナスながらも卸売業がこれに続く。ここでも、建設業・小売業が悪く、小売では「地域内の地域間格差」もみられている。

(2) 来期の見通し

来期の見通しは、製造業が相対的に良好。卸売業では売上は好転見込みだが、業況は見通しが良くない。ここでも建設業・小売業が厳しい見通しである。特に、建設業が、公共投資削減⇒競争激化⇒利益率低下に加え、一般競争入札の導入による安値受注と材料費値上げがダブルパン状態のようである。

仕入価格については、原油価格の高騰により大きなマイナス値を予想している。

(3) 経営上の問題点

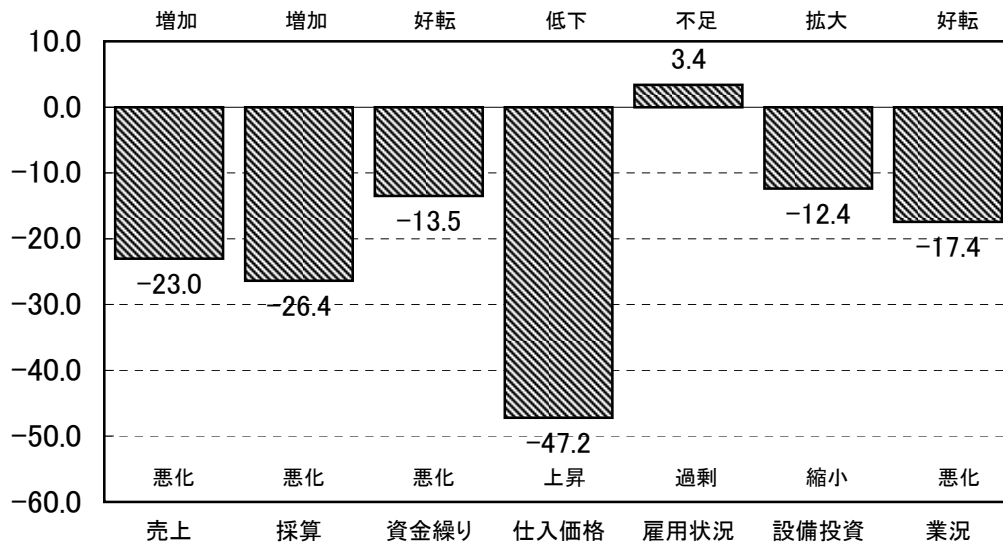
今回は上位の順位に変動はなく、やはり「需要の停滞」が1位で、2位に「原材料価格の上昇」、3位に「製品（販売）単価の低下・上昇難」と続き、上位3つは前回と不変。

(4) 今後の対応策

今回も、「その他合理化を実施したい」が1位、「新規市場を開拓したい」が2位と上位を占める。その後、「人件費を削減したい」が3位で、4位に「新製品の開発を行いたい」と続いている。

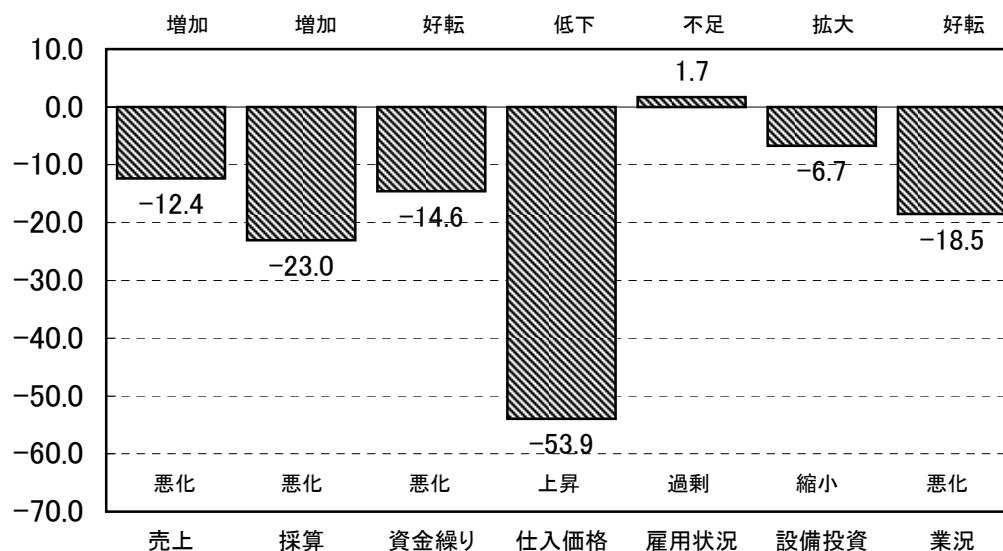
4. 県内の景気動向(全業種)

前期比(平成19年1～3月比)



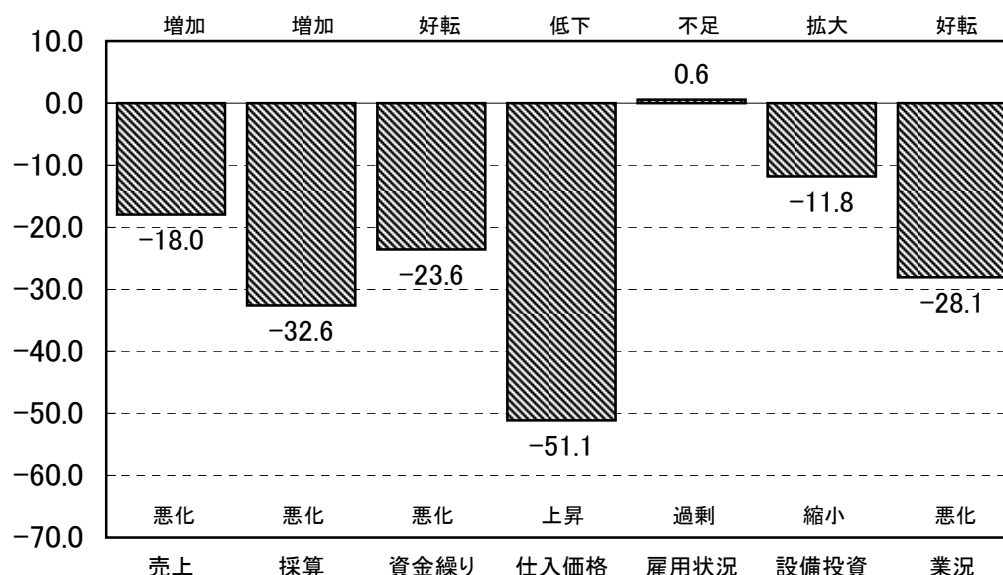
前期比のD I値は、卸売業が唯一売上・業況ともプラス、他は全てマイナスとなった。特に、年度末需要の恩恵があった建設業・小売業の数値が悪かった。

前年同月比(平成18年4～6月比)



前年同月比では、製造業・サービス業が比較的良好で、マイナスながら卸売業がそれに続く。ここでも建設業・小売業が悪い。特に、小売では地域内地域間格差のコメントがあった。

来期見通し(平成19年7～9月見通し)

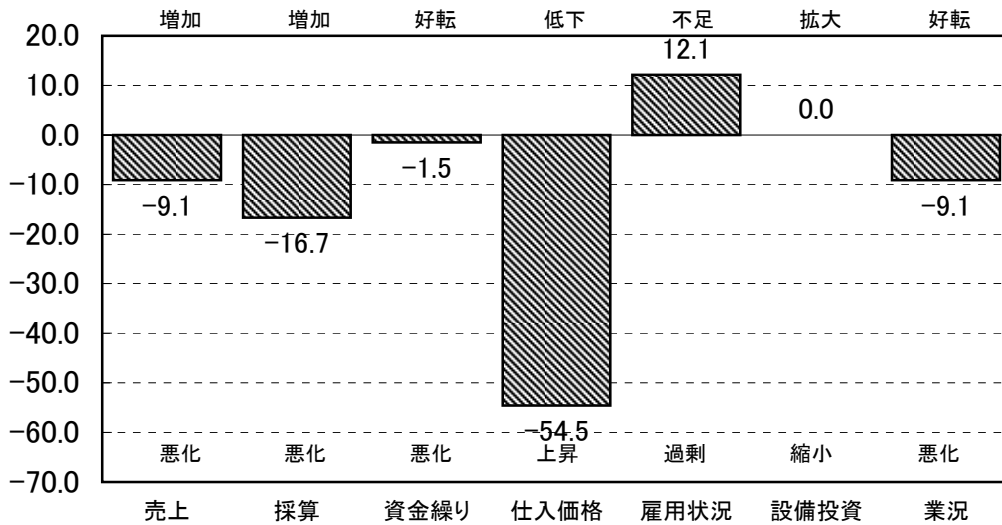


来期見通しでは、製造業が相対的に良好。卸売業は売上は好転見込みだが、業況悪し。ここでも、建設業・小売業が厳しい見通し。特に建設業が、公共工事削減⇒競争激化⇒利益率低下に加え、一般競争入札の導入と材料値上げが響いている模様。

5. 業種別の景気動向

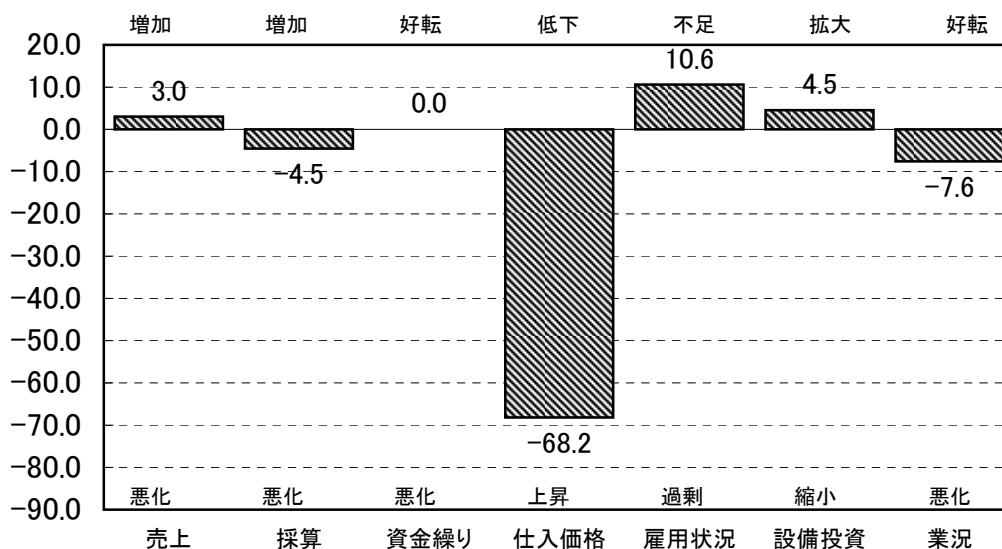
(1) 製造業

前期比(平成19年1～3月比)



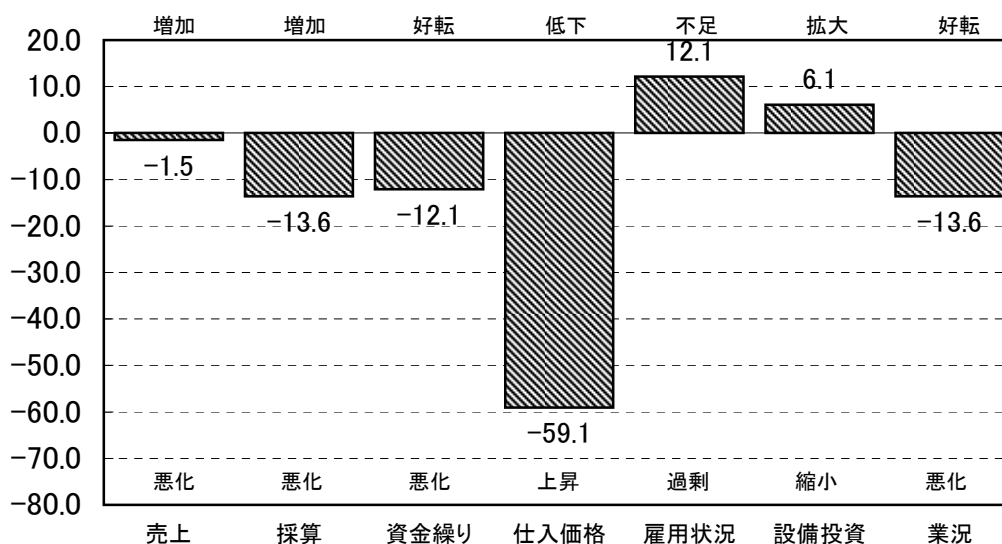
前期比D I値は、ほとんどの数値悪化。「九州北部は、自動車・IT・造船関連で好調。南九州と地域格差が拡大。」との声も聞かれた。また、ほとんどのコメントにて、「原油価格高騰による原材料高」を嘆いていた。

前年同月比(平成18年4～6月比)



前年同月比でも前回調査より悪化している。公共工事抑制や入札制度改革、住宅着工減によりセメント・製材が厳しい。一方、「昨年並み」との声も聞かれ、売上D I値は何とかプラス。ここでも原油価格の影響大。

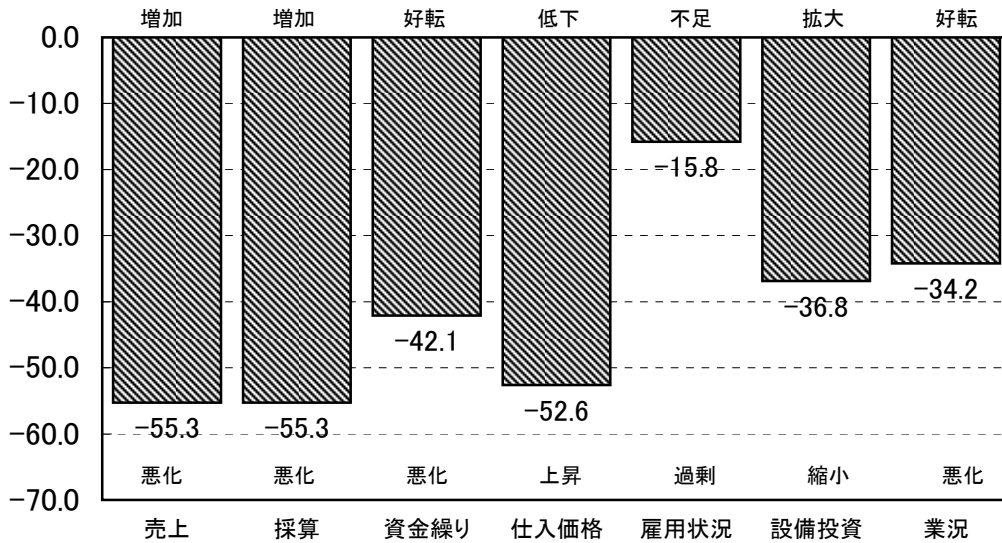
来期見通し(平成19年7～9月見通し)



前回調査より若干の悪化。「好材料なし」（鋼材加工）、「分からない」（製材）、「例年と同じ」（縫製）、「予測できない」（製材）と不変の声が多い。やはり、原油価格高騰を懸念する声多し。

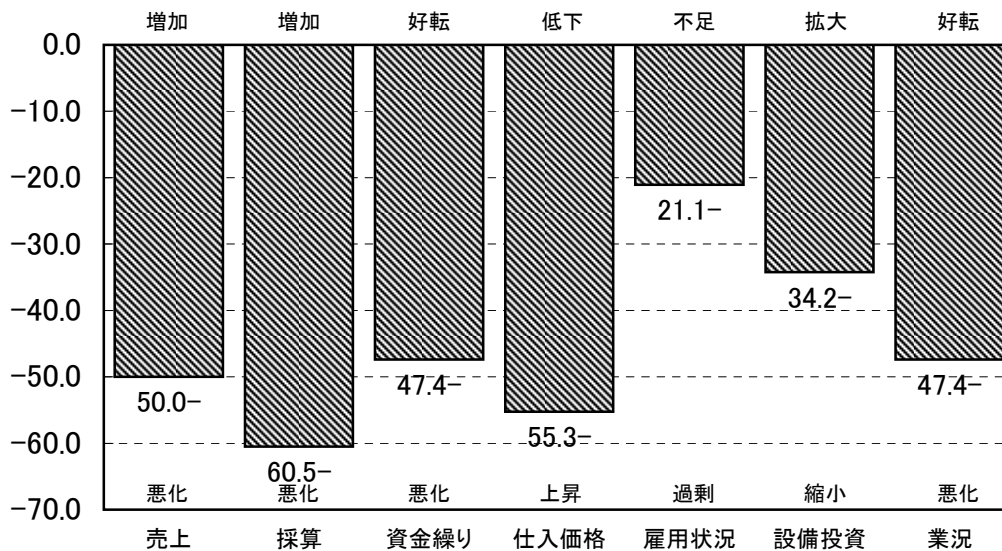
(2) 建設業

前月比(平成19年1~3月比)



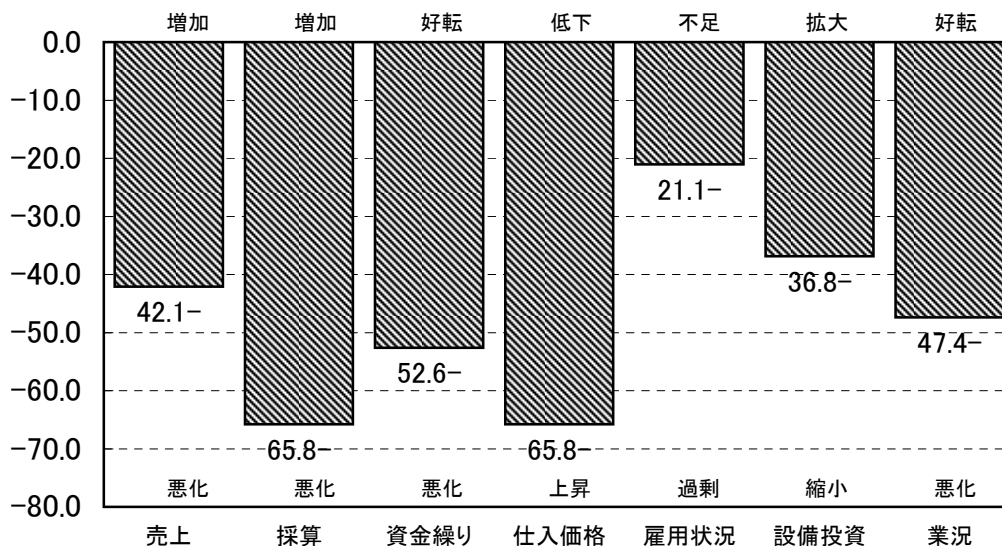
建設業の前期比D Iは、大きく悪化。一部では、完成工事があった事業所もあったようであるが、この時期は年度末需要の反動であまり良くない時期。それに加え、入札制度の改革も影響を与えていると思われる。

前年同月比(平成18年4~6月比)



前年同月比のD Iも悪化。受注を増やしている事業所もあるが、「公共工事の減少」、「(それに伴う)競争激化」に加え、「一般競争入札による利益率低下」が追い討ちをかけた結果になっている。

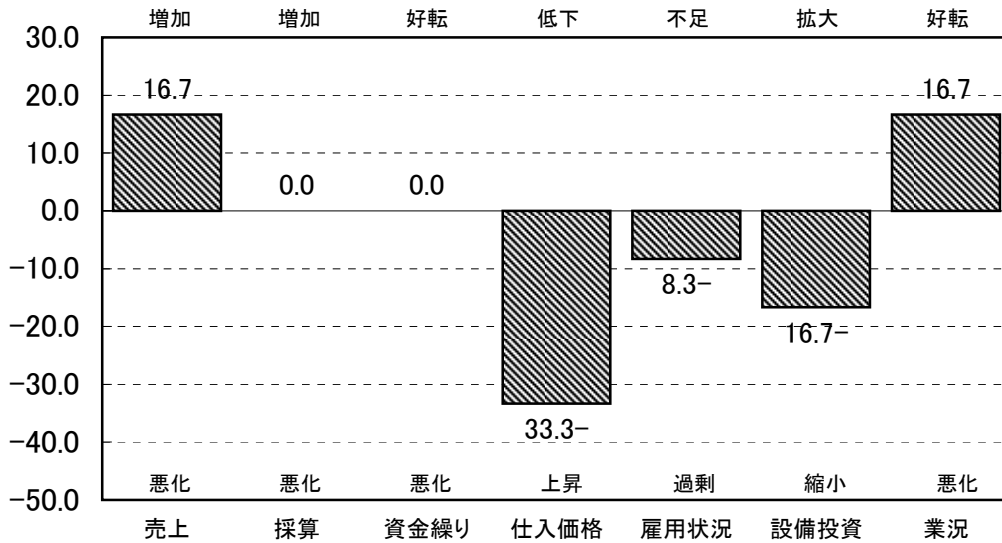
来期見通し(平成19年7~9月見通し)



年度初めという季節的要因を脱する来期であるが、改善ながらも数値的には厳しい。やはり、公共工事削減⇒競争激化⇒利益率低下に加え、一般競争入札の導入に伴う安値受注が響き、材料費値上げによるダブルパンチとなっている。

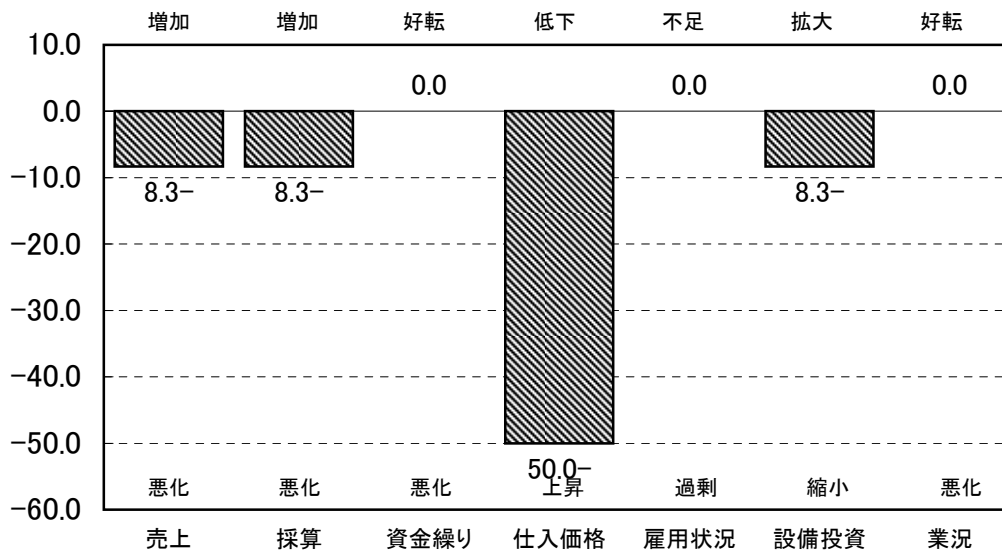
(3) 卸売業

前期比(平成19年1~3月比)



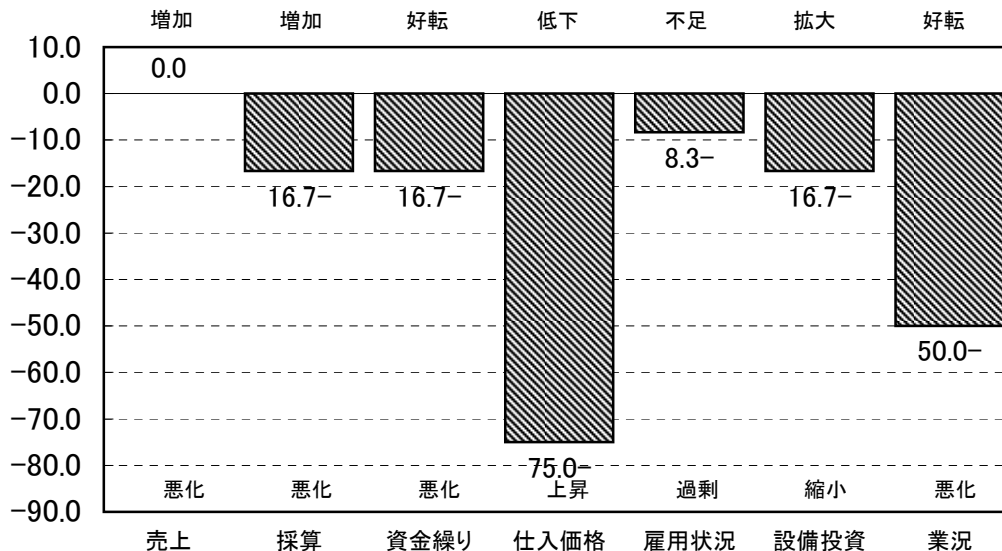
卸売業前期比D Iは、前回調査より改善・プラスに転じた。「春の需要期」(紙文具事務機)、「季節的に良くなる」(食品卸)に加え、「東国原知事のトップセールス」(食料品卸)の影響があるものと思われる。

前年同月比(平成18年4~6月比)



卸売業の前年同月D Iは、若干ながら悪化し、マイナスに転じた。コメント数が少ないが、「天候不順で量不足、味悪い」(青果卸)、「需要の低迷」(紙文具事務機卸)の声が聞かれた。

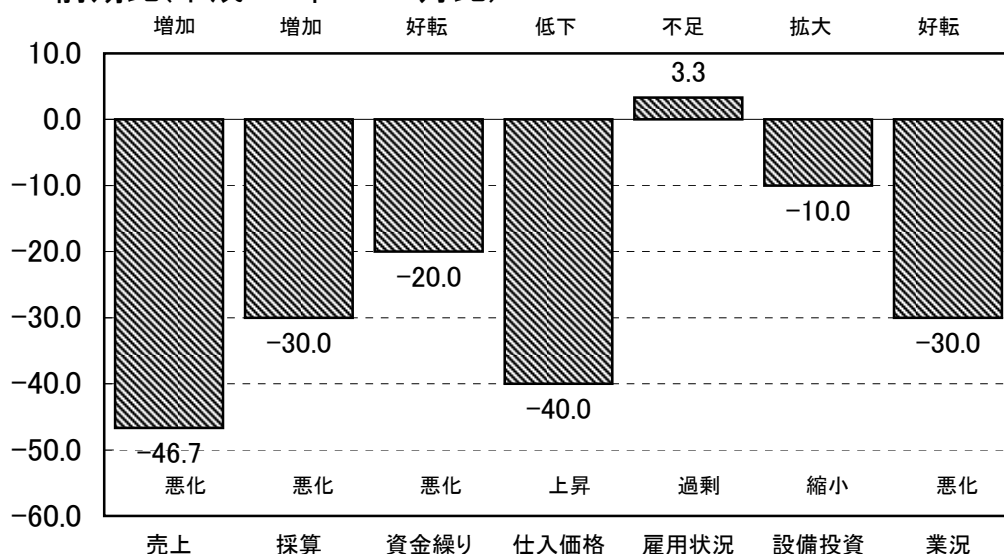
来期見通し(平成19年7~9月見通し)



来期見通しD Iは、売上が改善を見せている。「需要の低迷」(紙文具事務機卸)、「天候に左右される」(青果卸)だが、中元商戦への期待があらわれているものと思われる。

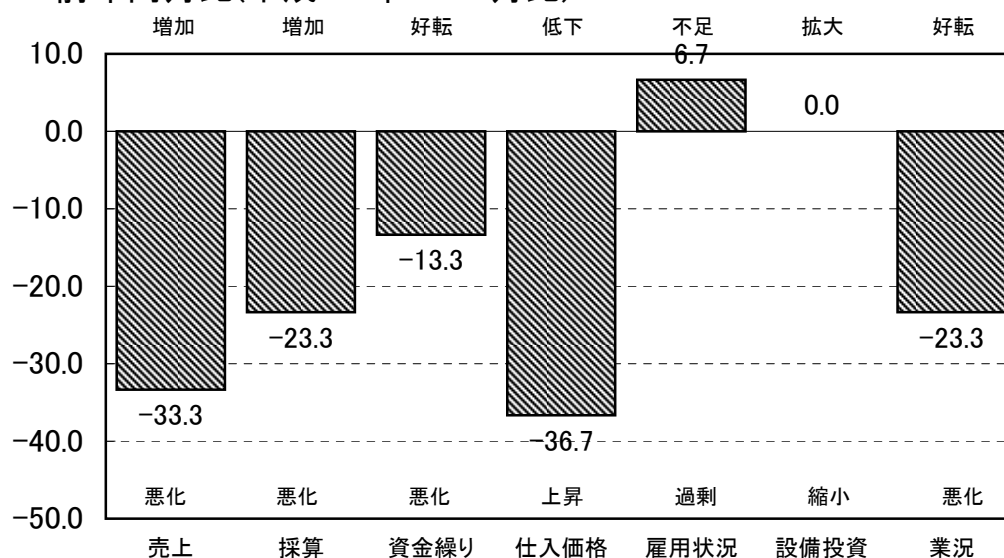
(4) 小売業

前期比(平成19年1~3月比)



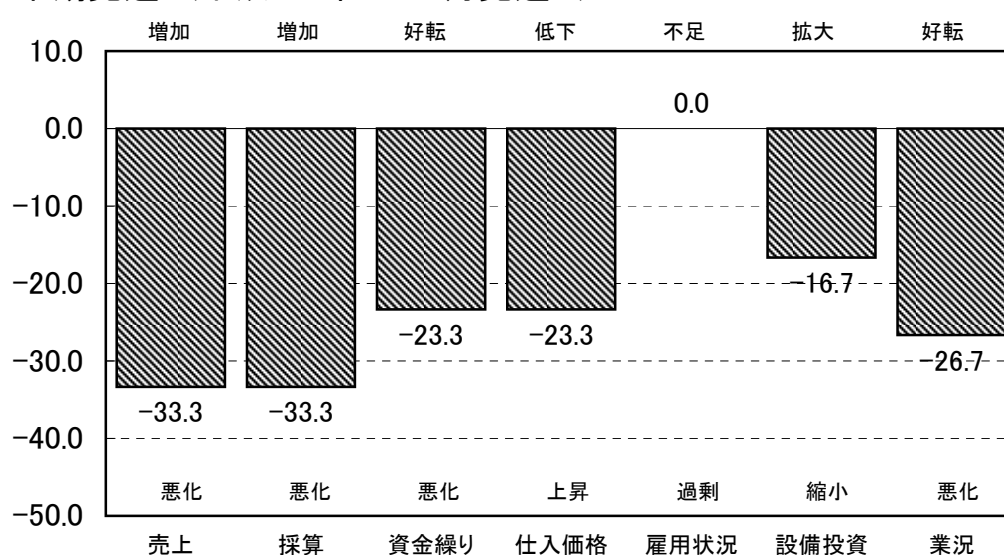
小売業の前期比D Iは、前回調査に比べ大きく悪化。「大きな変化なし」(S C)など変化が見られない中、「年度末の需要と比較すれば減収」、「市場の縮小」、「県外資本の流入で競争激化」とみられる。

前年同月比(平成18年4~6月比)



小売業の前年同月比D I値は前回調査より大きく悪化。宮崎では、「イオンS C開店から3年経ち、売上が以前の水準に戻った」(総合小売)の一方、地方では「イオン、山形屋増床後は厳しい」との声も。

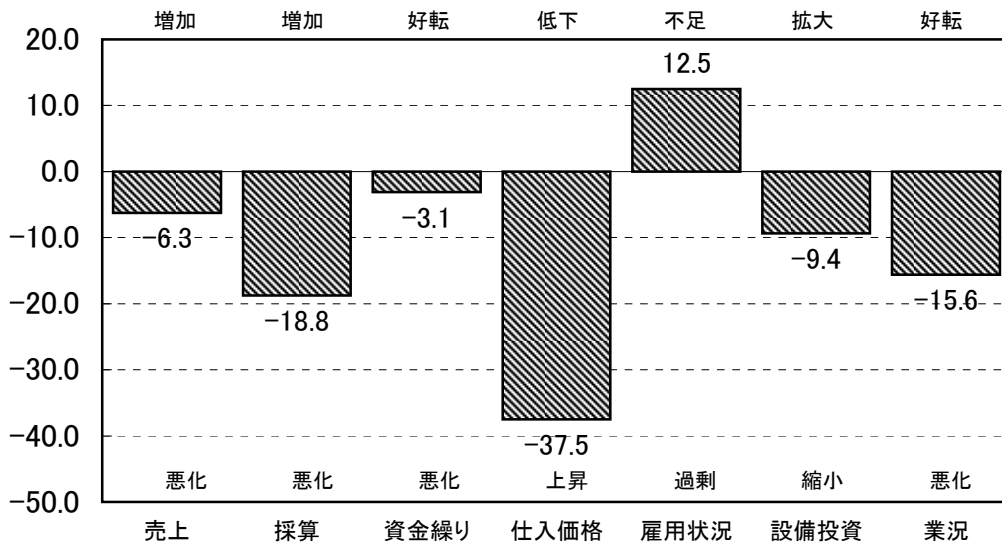
来期見通し(平成19年7~9月見通し)



来期見通しD Iについても前回調査と比べ悪化。一部の事業所ではプラスの要因がみられるものの、夏枯れのコメントが多かった。また、「知事ブームにかげり」(観光土産・レストラン)との声も聞かれた。

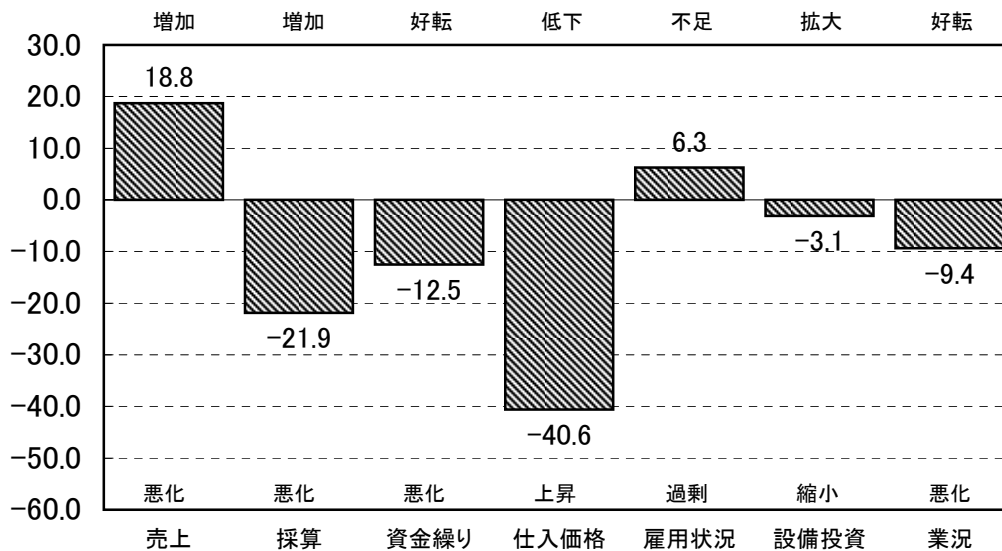
(5) サービス業(飲食関連・観光関連を含む)

前期比(平成19年1~3月比)



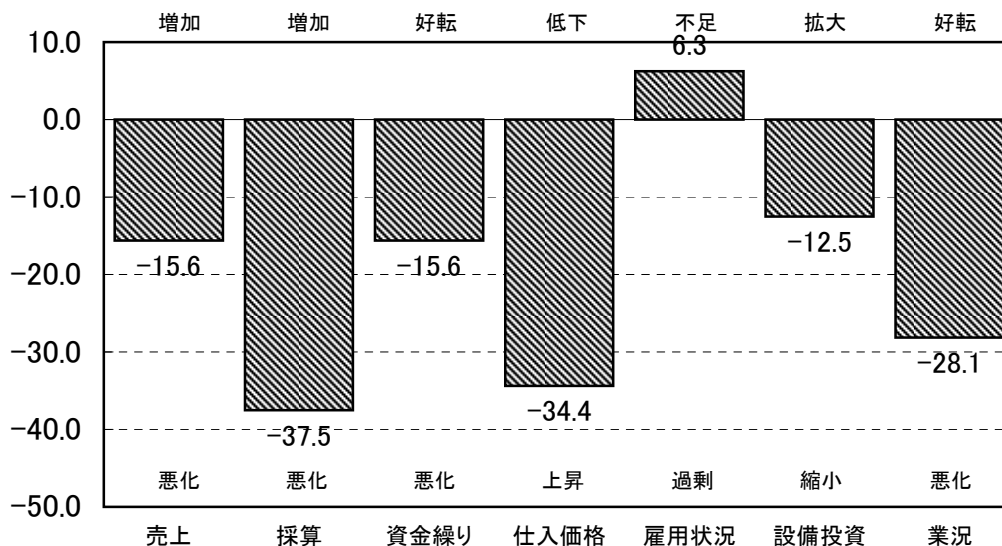
前回調査ではプラス値であったサービス業の売上DIは、今回調査ではマイナスへ。「前期と極端に変化ない」のような声もあるが、「年度末と比べると落ちる」などの影響下と思われる。

前年同月比(平成18年4~6月比)



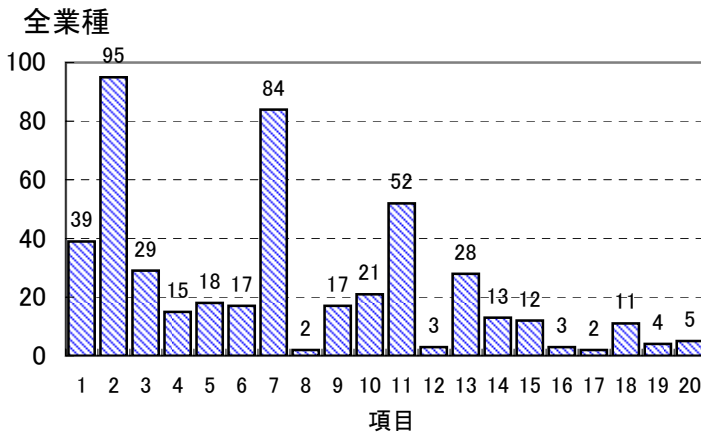
前年同月比DIは売上が前回同様プラス値を確保。需要の減少、競争の激化を嘆くコメントが多かったものの、数値的には改善。一方、原油価格の高騰による経費の悪化は避けられない模様。

来期見通し(平成19年7~9月見通し)



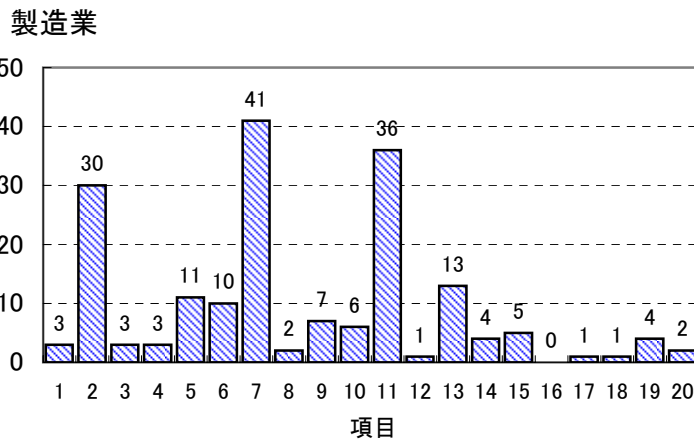
来期見通しDIは、マイナスながらも前回調査値より改善をみせた。ただ、コメントでは「先が読めない」、「横ばい」等の不変に対する声が多く聞かれた。

6. 経営上の問題点



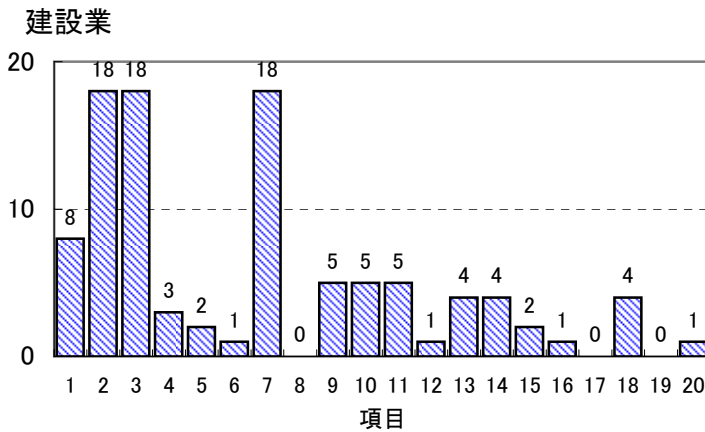
順位

- 1位 需要の停滞
- 2位 原材料(仕入単価)価格の上昇
- 3位 製品(販売)単価の低下・上昇難
- 4位 県外大手企業の進出による競争の激化
- 5位 県内大手企業の事業展開による競争の激化



順位

- 1位 原材料(仕入単価)価格の上昇
- 2位 製品(販売)単価の低下・上昇難
- 3位 需要の停滞
- 4位 熟練技術者(従業者)の不足
- 5位 生産設備の不足・老朽化



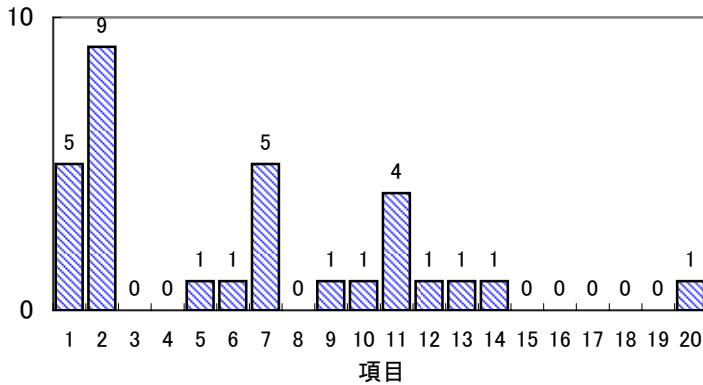
順位

- 1位 需要の停滞
- 2位 県内大手企業の事業展開による競争の激化
- 3位 原材料(仕入単価)価格の上昇
- 4位 県外大手企業の進出による競争の激化
- 5位 原材料・人件費以外の経費の増加

項目一覧

- | | |
|------------------------|--------------|
| 1. 県外大手企業の進出による競争の激化 | 2. 需要の停滞 |
| 3. 県内大手企業の事業展開による競争の激化 | 4. 新規参入業者の増加 |
| 5. 生産設備の不足 | 6. 製品ニーズの変化 |
| 7. 原材料(仕入単価)価格の上昇 | 8. 生産設備の過剰 |
| 9. 原材料・人件費以外の経費の増加 | 10. 人件費の増加 |
| 11. 製品(販売)単価の低下・上昇難 | 12. 原材料の不足 |
| 13. 熟練技術者(従業者)の不足 | 14. 金利負担の増加 |
| 15. 従業員の不足 | 16. 事業資金の借入難 |
| 17. 商品在庫の過剰 | 18. 取引条件の悪化 |
| 19. 円高による海外製品との競争激化 | 20. 代金回収の悪化 |

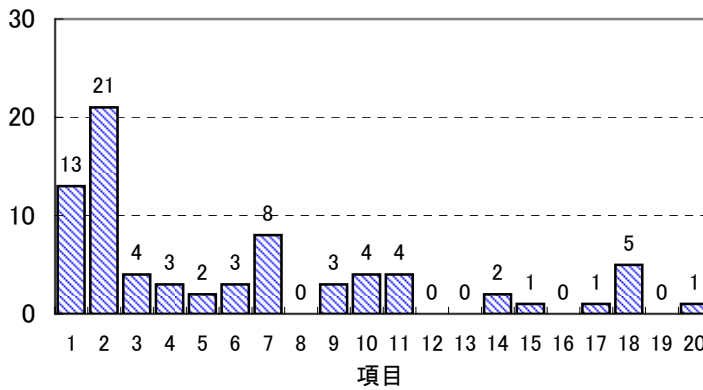
卸売業



順位

- 1位 需要の停滞
- 2位 県外大手企業の進出による競争の激化
- 3位 原材料(仕入単価)価格の上昇
- 4位 製品(販売)単価の低下・上昇難
- 5位 生産設備の不足・老朽化

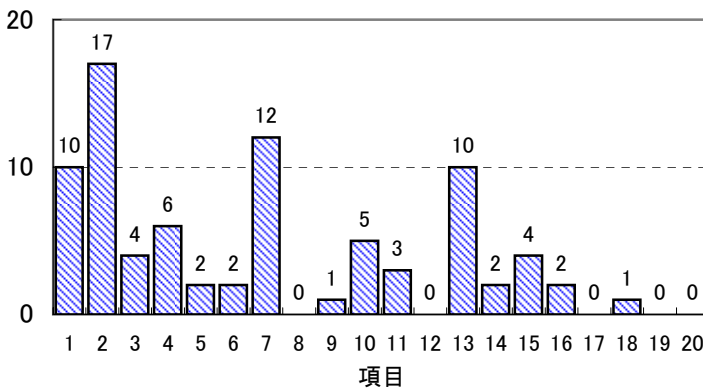
小売業



順位

- 1位 需要の停滞
- 2位 県外大手企業の進出による競争の激化
- 3位 原材料(仕入単価)価格の上昇
- 4位 取引条件の悪化
- 5位 県内大手企業の事業展開による競争の激化

サービス業



順位

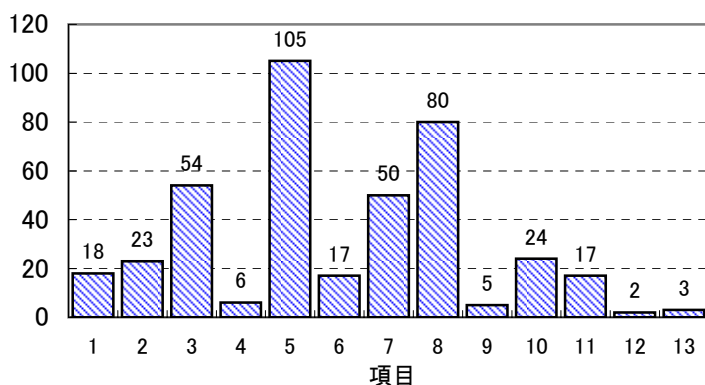
- 1位 需要の停滞
- 2位 原材料(仕入単価)価格の上昇
- 3位 県外大手企業の進出による競争の激化
- 4位 熟練技術者(従業者)の不足
- 5位 新規参入業者の増加

項目一覧

- | | |
|------------------------|--------------|
| 1. 県外大手企業の進出による競争の激化 | 2. 需要の停滞 |
| 3. 県内大手企業の事業展開による競争の激化 | 4. 新規参入業者の増加 |
| 5. 生産設備の不足・老朽化 | 6. 製品ニーズの変化 |
| 7. 原材料(仕入単価)価格の上昇 | 8. 生産設備の過剰 |
| 9. 原材料・人件費以外の経費の増加 | 10. 人件費の増加 |
| 11. 製品(販売)単価の低下・上昇難 | 12. 原材料の不足 |
| 13. 熟練技術者(従業者)の不足 | 14. 金利負担の増加 |
| 15. 従業員の不足 | 16. 事業資金の借入難 |
| 17. 商品在庫の過剰 | 18. 取引条件の悪化 |
| 19. 円高による海外製品との競争激化 | 20. 代金回収の悪化 |

7. 今後の対応策

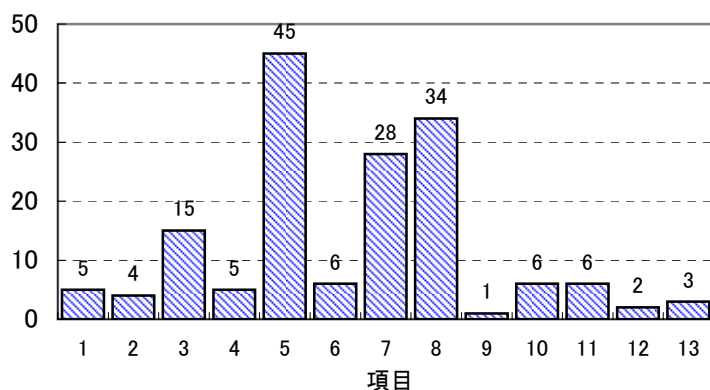
全業種



順位

- 1位 その他の合理化を実施したい
- 2位 新規市場を開拓したい
- 3位 人件費を削減したい
- 4位 新製品の開発を行いたい
- 5位 経営の多角化を行いたい

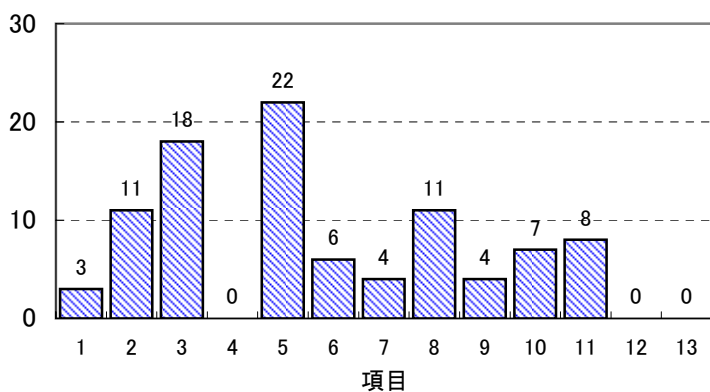
製造業



順位

- 1位 その他の合理化を実施したい
- 2位 新規市場を開拓したい
- 3位 新製品の開発を行いたい
- 4位 人件費を削減したい
- 5位 設備投資を縮小したい

建設業



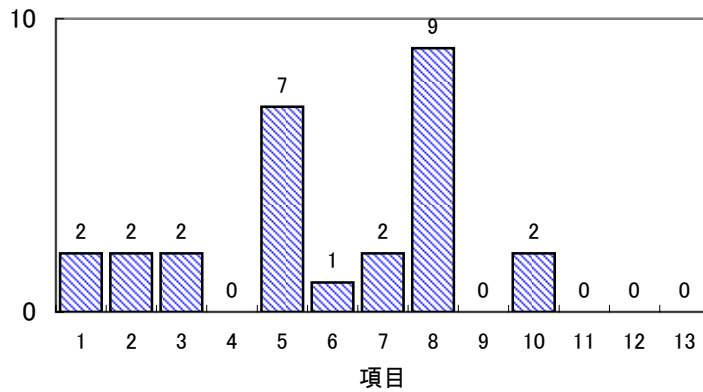
順位

- 1位 その他の合理化を実施したい
- 2位 人件費を削減したい
- 3位 雇用調整を行いたい
- 4位 新規市場を開拓したい
- 5位 下請け発注を減らしたい

項目一覧

- | | |
|------------------------------|----------------------|
| 1. 新規採用を見合わせたい | 2. 雇用調整を行いたい（1を除く） |
| 3. 人件費を削減したい | 4. 生産調整を行いたい（操業短縮など） |
| 5. その他の合理化を実施したい（製造工程の簡素化など） | 7. 新製品の開発を行いたい |
| 6. 設備投資を縮小したい | 9. 業種転換を行いたい |
| 8. 新規市場を開拓したい | 11. 下請け発注を減らしたい |
| 10. 経営の多角化を行いたい | 13. 海外から原料・部品を調達したい |
| 12. 海外へ生産拠点を移したい | |

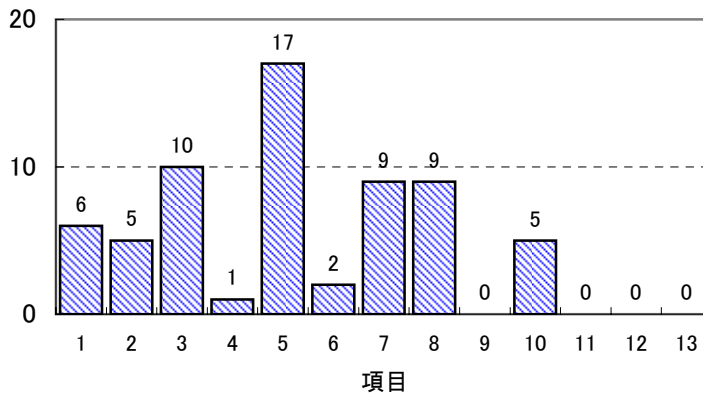
卸売業



順位

- 1位 新規市場を開拓したい
- 2位 その他の合理化を実施したい
- 3位 新規採用を見合わせたい
- 4位 雇用調整を行いたい
- 5位 人件費を削減したい

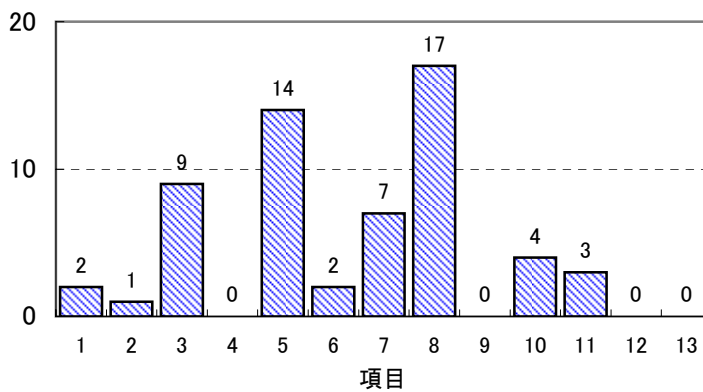
小売業



順位

- 1位 その他の合理化を実施したい
- 2位 人件費を削減したい
- 3位 新製品の開発を行いたい
- 4位 新規市場を開拓したい
- 5位 新規採用を見合わせたい

サービス業



順位

- 1位 新規市場を開拓したい
- 2位 その他の合理化を実施したい
- 3位 人件費を削減したい
- 4位 新製品の開発を行いたい
- 5位 経営の多角化を行いたい

項目一覧

- | | |
|------------------------------|----------------------|
| 1. 新規採用を見合わせたい | 2. 雇用調整を行いたい（1を除く） |
| 3. 人件費を削減したい | 4. 生産調整を行いたい（操業短縮など） |
| 5. その他の合理化を実施したい（製造工程の簡素化など） | |
| 6. 設備投資を縮小したい | 7. 新製品の開発を行いたい |
| 8. 新規市場を開拓したい | 9. 業種転換を行いたい |
| 10. 経営の多角化を行いたい | 11. 下請け発注を減らしたい |
| 12. 海外へ生産拠点を移したい | 13. 海外から原料・部品を調達したい |

8. 国・県への要望

業種名	事業内容	略名	国県への要望
製造業	印刷業	宮崎	企業の展望・将来性・事業計画を見据えて、資金繰りなどができるような金融機関を望む
製造業	IC製造業	宮崎	国・地方自治体の合理化・スリム化による税負担の軽減。
製造業	印刷	延岡	中小企業に対して、行政は余りにも無関心では？
製造業	木工所	延岡	1、個人の前処分所得の減少が、地方の景気停滞となっており、大企業優先の政策を受けとめられる状況がある。2、今国会での強硬採決は、国民に期待がもてるものばかりではないと思う。3、行財政改革は、省庁や地方行政の組織改革が大きく取上げられているが、その他、行政と国民が接する末端窓口等での改革、諸手続きの行政側の改革が必要な事例が沢山ある。
製造業	機械器具製造	延岡	北部九州との連携を持つ為には、やはり、高速道路が先決か？片道3～4時間では負担が大きい。
製造業	コンクリート製品	日南	地元県南2市2町の需要は減少するばかりで、生産規模や従業員数はピーク時の3分の2になり、当社の他工場へウエイトを移した。(延岡・北方インフラテック(株)等)今のままではさらに規模縮小を考えなければならない
製造業	各種印刷	小林	官庁の入札価格について、落札業者が採算割れにならないよう最低価格を綿密に積算していただき、その価格以下の業者は失格にできないでしょうか。安いだけの発注では地域の発展はないと思います。7015
製造業	建築資材卸	小林	地方では人口が減少する一方で活気がなくなり、油の高騰等で不景気に拍車をかかせる感がある。63
製造業	焼酎製造販売	串間	「地産地消」各関係の行政、会議所など宮崎県産焼酎の拡充と更なる浮揚を願いたい
建設業	管工事	都城	入札価格、入札制度の見直しが必要です。
建設業	建築工事業	都城	宮崎港から関東へのフェリーを再開してほしい
建設業	建築工事業	宮崎	地方で活躍する中小建設会社は、地元で資材と労務を調達し、地域経済の発展を担っている存在として認識されています。中小企業の経営環境を整備し、自主的発展を促すため、中小企業に対する法人税率を大幅に軽減する必要があります。
建設業	電気工事防災工事	宮崎	一般競争入札制度により、参加者が多くなり受注が取れない。最低価格を割り入札する業者増の傾向、さらに共倒れ減少が起きないか。官公庁発注件数が少ない。
建設業	生コン製造 建設業	宮崎	公共投資の削減は国の方針としても、特に産業のない本県としては公共工事に頼るところが大きい。建設業・関連業者としては、考慮して欲しいところである。
建設業	土木建築とび土工他	宮崎	一般競争入札の導入によりダンピング受注を繰り返す業者がいる中、特Aクラスの業者でも倒産が出ている。入札制度においては、不適格業者を排除する方法も考慮すべきではないか。
建設業	建設業	延岡	土木工事では、今までの指名競争入札が一般競争入札に変わり業者間の落札率が大幅に下がり利益のでない工事の数が多くなる。倒産する建設業者が増えることが予想される。
建設業	建築塗装	日向	個人消費につながる減税で、底辺にいきわたる景気対策であって欲しい。4085
建設業	建設業	日向	公共工事における一般競争入札の突然の導入により赤字受注を余儀なくされている。ただでさえ設計労務単価の下落に苦しんでいる状況であるので、最低制限価格のあり方を検討すべきである。4135
建設業	建設業	日向	公共施設の緊急事項である耐震改修工事の早期発注を求める。4061
建設業	電気工事業	高鍋	県知事は何とかしてほしい。今の状況では宮崎県の建設業はすべて倒産する。5008
建設業	建設業	日南	入札制度の落札の最低価格の上昇を願いたい。

卸売業	建設資材販売施工	延岡	地域間格差の是正を望む。
卸売業	青果卸	日南	観光面では景気が好転しているようですが、建設業などの業種が悪化しているため、消費がのびず、利益が出ないので資金繰りに苦慮しています。
小売業	自動車等の販売と整備	宮崎	燃料の価格安定供給の実施
小売業	総合小売業	宮崎	「原油・ガソリン高騰への対策」、「円安への対策」を望む。
小売業	ショッピングセンター	宮崎	中心市街地ばかりでなく、南エリアも交通拠点として、また商業地域としての実績もあり、行政として活性化対策の実施が急務であると思われる。街が陳腐化する前に、中心地と連携を持った街づくりが必要である。
小売業	服飾附属品・手芸	宮崎	今年は特にお盆に人が少なく、街の中ががらがら。もっと街の中に人が集まるよう市や県にお願いしたい(公共施設など)。
小売業	一般食品小売業	宮崎	食品業界に対して、県等の他業種に対するより、サポートが少ないのでは。
小売業	写真カメラビデオ販売	宮崎	件の所得水準が上がらなければいけないので、雇用対策や県外企業の誘致を積極的に行って欲しい。
小売業	毛糸・手芸品卸	宮崎	店頭販売だけでなく、ネットへの参入を考えたい。
小売業	衣料品・食料品他小売	宮崎	公共工事等の景気刺激策、内需拡大
小売業	ガソリンスタンド	日南	企業誘致による若い労働者及び交流人口を増やしてほしい。
小売業	観光土産、レストラン	日南	県物産館の在り方を考えてほしい。在来店は非常に皆さん危惧している。知事マークの管理は充分か？チェックはしているのか？
小売業	百貨店	日南	中心市街地活性化の中でも話題となっていることでもあるが、人が集まるために①駐車場②歩いて回れる商店街(堀川沿いも含む)→飲食も含め屋台風にいるんならチャレンジショップの誘致も必要。神社も何か使えないか。
サービス業	貨物運送業	都城	原油価格が上昇しているため、軽油引取税の軽減をはかってほしい
サービス業	不動産鑑定評価業務	宮崎	一刻も早く入札改革を行い、最低落札価格を設定すべき。業者が美奈体力を失うと、結局は発注業者が困り、初期の期待する成果品が得られなくなると思う。
サービス業	美容婚礼業	宮崎	税の見直し
サービス業	広告代理業	宮崎	県外企業の積極的な誘致政策を進め、雇用促進等景気浮揚につながる活動を期待します。
サービス業	ホテル	宮崎	知事効果により、県内への顧客は増えたものの、期待していたほどビジネス客は増えていない。観光以上に商工部門に力を注いでいただきたい。
サービス業	広告代理店	宮崎	県外の大資本の参入で競争激化
サービス業	建設業・サービス業	延岡	安価であれば、良いという考え方が非常に強いので、そのあたりを改革してほしい。
サービス業	クリーニング業	延岡	ガソリン(石油製品)の値上がりが直接ひびく業種なので、こたえている。単価を値上したいのは、やまやまだが、需要が停滞しているなか、値上をして客離れにつながる恐れもあるので、頭を悩ませている。
サービス業	飲食業	日向	規制緩和に始まり、競争入札と企業の体力がなくなりつつある。現行の競争入札制度では企業が成り立ってゆかないと考える。末端の業種は各企業の景気に左右されるため対策を考慮して欲しい。4033
サービス業	レストラン	高鍋	政治、雇用等の不安、県内での農業(農家)の不況など、安心して暮らせない将来に希望が持てない現況です。町内に於いてもあまり明るい話題がありません。商工会議所として、力不足ではないでしょうか。3年先、5年先のビジョンは？町の(商売人)は知っているのでしょうか。5014
サービス業	ホテル	日南	県知事が全国版で宮崎をPRされている。その波に乗って各市町村の魅力を発信し、観光客の増加を図ってほしい。

サービス業 温泉浴場

串間 裏金をつくる余裕があるなら中小企業のために石油税を下げる方法でも考えて欲しい